

英語活動学習指導案

令和3年5月18日(火) 第3学年3組(プレイルーム)

【単元】Let's make 3-3 ranking! ~好きな物やきれいな物の発表をしよう~

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 好きな物や嫌いな物の発表をする際に用いる英語の音声についての気づきや慣れ親しみ 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな物や嫌いな物に応じて, 英語表現の選択・組合せをし, 英語を用いて相手に分かりやすく自らの考えを伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を用いて相手に伝えるように工夫しながら, 好きな物や嫌いな物を伝えようとする態度
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> これまでに"Do you like ~?" "Yes, I do."を用いて好みを尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しんできている。 "What ~ do you like?" "I like ~." "I don't like ~."や好きな物を伝える際の名詞の複数形について初めて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 尋ねたい物や好みに応じて, "Do you like ~?" "Yes, I do."等の英語表現の選択をし, 色やスポーツ等の好みを尋ねたり答えたりすることができるようになってきている。 スポーツや動物について好きな物や嫌いな物の発表をすることは, 好きな物や嫌いな物の選択・組合せが増えるため, 伝えることが難しい児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を用いて相手に伝えるように工夫しながら, 好みを尋ねたり答えたりしようとしてきている。 友達の好みについて"Me, too." "Big voice, please."等を用いて反応をできなかったり, 相手の反応を得ても, 英語表現や伝え方の改善の仕方が分からない児童もいる。
価値	<ul style="list-style-type: none"> 好きな物や嫌いな物ランキングを作ることは, 自らの好みを伝えたい, 相手の好みを知りたいという思いを高め, 分かり合える。 動物を表す英語表現を扱うことは, 好き嫌いが分かれるため"I like ~." "I don't like ~."に慣れ親しめる。また, 動物を表す英語表現は, 可算名詞が多いため, 好きな物を伝える際に名詞の単数形と複数形の音声の違いに気付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな物や嫌いな物の発表をすることは, "I like ~." "I don't like ~."等の英語表現の選択・組合せをして伝えられる。 タブレットを用いてスポーツや動物の画像一覧から好きな物や嫌いな物に○や×を描きながら発表をすることは, 画像を参考にして伝えられるため, 好きな物や嫌いな物を表す英語表現の選択・組合せができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな物や嫌いな物ランキングを作ることは, 相手の好きな物や嫌いな物を聞き取る必要感が高まるため, うまく聞き取れなかった際に, "Big voice, please."等の反応ができる。 ALTのモデル動画を用いて音声を確認することは, 英語表現の改善ができる。
見方・考え方	<p>英語やその背景にある文化を捉え, 友達のことをよく知ることや, 好きな物や嫌いな物ランキングを作るというコミュニケーションを図る目的, 好きな物や嫌いな物の発表をするという場面, 状況及び相手の反応に応じて, 英語表現や伝え方の選択・組合せをすること。</p>		
今後の学習	<p>4年「Let's play cards. ~好きな遊びにさそおう~」において, "What activity do you like?" "I like ~." "Let's ~."等の英語表現を用いて, 友達の好きな遊びを尋ね, 遊びの約束をする活動へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	友達のことをよく知ることや、好きな物や嫌いな物ランキングを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、好きな物や嫌いな物の発表をする。			
評価 規準	(①知・技) スポーツや動物を表す英語表現の英語の音声と外来語の音声の相違点に気付いている。 (②思・判・表) 英語表現の選択・組合せをし、好きな物や嫌いな物の発表をしている。 (③主体的態度) 友達やALTに伝わるように工夫しながら、英語表現を用いて好きな物や嫌いな物の発表をしようとしている。			
言語 事項	I like ~ (and ~) ,but I don't like ~. What ~ do you like? sports/badminton/baseball/basketball/dodgeball/golf/hockey/hula hoop/jump rope/ karate/ kendo/rugby/running/skateboarding/skiing/snowboarding/soccer/ /swimming/table tennis/tennis animals/bears/cats/crocodiles/dogs/elephants/giraffes/goats/gorillas/hamsters/hedgehogs/horses/leopards/lions/mice/monkeys/pandas/parakeets/raccoons/ /rabbits/snakes/squirrels/tigers/wolves			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つか む	1	○小学生の習っているスポーツランキングを予想し、ALTのモデルを見聞きし、単元全体の課題(Unit Goal)をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Unit Goal 友達のことをよく知ったり、3-3好きな物やきらいな物ランキングを作ったりするために、友達やALTの前で分かりやすく、好きな物や嫌いな物の発表をしよう </div>	○好きな物や嫌いな物の発表をする際に必要な英語表現に気付けるように、ALTが、スポーツや動物の画像一覧から好きな物や嫌いな物の画像を○や×で描きながら発表をするモデルを演示し、「必要な英語表現」を視点として話し合う機会を設定する。	◇好きな物や嫌いな物の発表をする際に必要な英語表現を発言したり記述したりしている。 <行動③>
	1	○スポーツを表す英語表現を用いた「バトルカードゲーム」をし、"What sport do you like?" "I like ~." "I don't like ~."を用いて好きなスポーツや嫌いなスポーツを尋ねたり答えたりする。	○スポーツを表す英語表現と外来語の音声の相違点に気付けるように、英語表現と外来語の音声を比較して提示する。	◇英語の音声で好きなスポーツを発音している。 <行動①>
	1	○動物を表す英語表現を用いた「すごろくゲーム」をし、"What animal do you like?" "I like ~." "I don't like ~."を用いて好きな動物や嫌いな動物を尋ねたり答えたりする。	○必要に応じて動物を表す英語表現を繰り返し聞いたり発音したりできるように、ALTのモデル動画を用意する。	◇英語の音声で好きな動物を発音している。 <行動①>
1	○"I like ~." "I don't like ~."を用いて、スポーツや動物について好きな物や嫌いな物の発表をする英語表現の改善をする。(本時)	○好きな物や嫌いな物の発表をする伝え方のよさ・改善点に気付けるように、タブレットを用いて評価を送り合い、確認する機会を設定する。	◇好きな物や嫌いな物を伝える英語表現の選択・組合せをし、友達からの反応を基に英語表現や伝え方を工夫している。 <行動②>	
まとめ	1	○スポーツや動物について好きな物や嫌いな物の発表をし、3-3好きな物や嫌いな物ランキングを作る。	○好きな物や嫌いな物の発表をする伝え方の改善点を確認できるように、前時に友達から得た評価を確認する機会を設定する。	◇相手と目線を合わせたり好きな物や嫌いな物を指したりしながら、聞き取りやすい声の大きさや速さで好きな物や嫌いな物の発表をしようとしている。 <行動①②③>

本時の学習（4／5時間目）

ねらい 友達からの反応を基に改善点を意識しながら、相手を替えて繰り返し伝えることを通して、相手に分かりやすく英語表現や伝え方を工夫し、スポーツや動物について好きな物や嫌いな物の発表ができる。

評価項目 好きな物や嫌いな物を伝える英語表現の選択・組合せをし、友達からの反応を基に英語表現や伝え方を工夫している。

<行動②>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は、次回のみんなの前での発表に向けて、友達にコメントをもらいながら好きな物や嫌いな物の発表をするのだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 3-3好きな物や嫌いな物ランキングを作るために、友達に分かりやすく発表ができるようになりたいな。(目的意識) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○動物を表す英語表現の英語の音声を確認できるように、大型モニターを用いて英語表現を提示し、ALTの後に続いて発音するよう促す。 ○好きな物や嫌いな物の発表に向けて、友達の評価から気付いた改善点を意識して伝え合い、英語表現や伝え方を改善するという本時の見通しをもてるように、JTEが好きな物や嫌いな物の発表をし、ALTが評価するというモデルを演示し、話の内容を問いかける。
<p>めあて：友達からのコメントを基に、友達に分かりやすく好きな物や嫌いな物の発表をしよう</p>	
<p>2 好きな物や嫌いな物の発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくは、動物の中で特にライオンが好きで、ヘビが嫌いだから"I like lions. I don't like snakes."と伝えるぞ。 "Good volume!" "Speed up!"と友達が言ってたよ。声の大きさはよかったけれど、まだうまく言えなくて止まってしまうな。友達は、好きな動物を"and"を付けて2つ言っているから、"I like lions and tigers."とぼくも言ってみよう。 友達は、好きな物や嫌いな物の発表をするときに、タブレットの画像に線で○や×を描きながら発表をしていて分かりやすいな。ぼくも○や×を描きながら、好きな物や嫌いな物の発表をしてみよう。 タブレットで友達からのコメントを見ると、少し遅かったのとあまりジェスチャーができていなかったのだな。"speed" と"gesture"に気を付けて発表をしてみよう。 だんだん止まらずに、発表ができるようになってきたよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> "and"を付けて2つ好きな動物を伝えられるようになったよ。改善点に気を付けてたくさんの友達に発表をしたら、○や×を描きながら、止まらずに伝えられるようになったよ。友達に"Me,too."と言われて、しっかりと伝わって楽しかったな。(目的を達成した意識) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな物や嫌いな物の発表をする際に必要な英語表現を確認できるように、英語表現を問いかける。 ○自らの好きな物や嫌いな物の発表をする際に用いる英語表現を確認できるように、グループ内で発表をし合う機会を設定し、ALTのモデル動画を見て発音を真似するよう促す。 ○好きな物や嫌いな物の発表をする英語表現や伝え方を改善できるように、多くの人に発表をするよう促す。 ○好きな物や嫌いな物の発表をする英語表現や伝え方のよさ・改善点に気付けるように、聞き手は口頭でよさ・改善点を伝えた後、タブレットで評価を送るよう促す。 ○伝え方を工夫しながら相手に分かりやすく好きな物や嫌いな物の発表をするよさに気付けるように、ジェスチャーをしながら、聞き手と目を合わせ、聞き取りやすい声の大きさや速さで伝えている児童同士のモデルの紹介をし、話の内容や伝え方のよさを問いかける。 ○好きな物や嫌いな物の発表をする英語表現や伝え方の改善点を明確にもてるように、送られてきた評価を基にした改善点を問いかける。 ○好きな物や嫌いな物の発表をする伝え方に自信をもてるように、聞き手と目を合わせ、聞き取りやすい声の大きさや速さ等で伝えている児童を称賛する。
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 後半には、"Good speed!"と言ってもらい、友達からのコメントを見ても、「分かりやすかった。」が多くなっているな。 今回は、クラスの前で好きな物や嫌いな物の発表をするのだな。みんなの前でも止まることなく、好きな物に○、嫌いな物に×を描きながら発表ができるといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語表現や伝え方を工夫して好きな物や嫌いな物の発表をした成果や改善点に気付けるように、「できるようになったこと」「次回がんばりたいこと」を視点として、成果や改善点をTryシートに記述するよう促す。 ○次時の学習で、3-3好きな物や嫌いな物ランキングを作るために、学級全体の前で発表をするという見通しをもてるように、Unit Listを提示し、次時に取り組むことを問いかける。